

2009年 3月 9日

島根大学長 殿

研究者名 (代表者名)

高 桂英

印

2008年度研究奨励助成 研究報告書

研究分野	(該当する分野を○で囲んでください) 1. 寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続的可能な発展に関する研究 ②. 生態系・環境の保護と再生に関する調査研究 3. 農業経済と社会発展の比較に関する調査研究
研究者の連絡先	
実施期間	2008年4月 ～ 2009年3月

研究の実績・成果の概要

持続可能な発展は世界に認められた発展戦略である。これは現代人の需要を満足させる上に、子孫の資源需要に危害をおびやかさないことを指している。その核心は生態と経済の調和的発展である。彭陽経験と黄土高原の持続可能な発展に関する研究論文は課題の提起から彭陽経験の基本的要点を総括してから、自然科学者、社会科学者と地元出身の専門家の共同努力の元で、彭陽県の設立最初の生態建設計画を立てた。この計画はそれぞれ県内の三種類の自然生態区に対し、三種類の治理パターンを出して、実践の中で著し成果を遂げた。本研究は生態環境の変化と農民収入との関係を分析し、彭陽県の生態建設の戦略と方策を研究して、基本的なやり方を総括した。その上に、黄土高原の経済社会の持続可能な発展に示唆を提出した。現在、論文はすでに完成した。2009年度に「彭陽経験と黄土高原の持続可能な発展について」と言う論文を発表する予定である。

区 分	金額 (単位: 円)	備 考
1. 物品費		
2. 消耗品費	22,724 円	(1,410.55 元)
3. 謝金等	106,326 円	(6,600.00 元)
4. 旅費・滞在費	63,957 円	(3,970.00 元)
5. その他	10,214 円	(634.00 元)
計	203,221 円	(12,614.55 元)

※交換レートは 16.11 円